

Japan Laser Class Association APR./2021 No.244

News

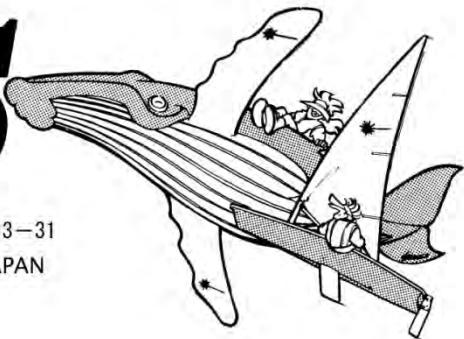
一般社団法人

日本レーザークラス協会 事務局：〒252-1114 神奈川県綾瀬市上土棚南3丁目13-31

Head Office: 3-13-31 Kamitsuchitana-Minami, Ayase, Kanagawa 252-1114 JAPAN

Tel&Fax : 0467-76-1103 Email : info@laserjapan.org

Website: http://www.laserjapan.org/



2020 Year Book 2021 レーススケジュール発表！

今年はたくさんレースができますように！！！



江ノ島ヨットハーバーに運び込まれたオリンピック艇。5月末には予定の99艇がハーバー内に勢揃い、
7月1日から大会デザインの貼り付け作業、7月14日の抽選に向けて最終調整に入る。

Laser Beam

With コロナの生活が始まって1年が経ちました。
皆さんはどう過ごしていますか？自粛自粛で生活様式も変わらざるをえない中、ステイホームも大事ですが、感染防止を徹底した上で海へ行き、大きく深呼吸する事も大事です。

ほんの1年前まで遠征大王だった私は、この変化で生まれた「時間」をたっぷりと Laser Life に充てさせてもらっています。コロナ禍で生まれた新しいシステムや技術は便利です。

在宅勤務？ はい、海が、マリーナが僕のお家です。
会議？ はい、早朝セーリングの後10時迄にはPCの前に座れます。
ハル磨き？ うん、平日昼間にのんびりやろう。

トレーニング？ ZOOMに短パンは写りません。
気持ちが沈む？ 沈起こし何年もやってきて得意です！
第4波が来た？ プレーニング大好きです！
換気？ ノープロブレム！
アルコール消毒？ 全身スプレー浴びまくりよ！
ソーシャルディスタンス？ 1人で乗るの大好きです！

シーズンイン直前の今、昨年よりも多くの大会が開催される事を願っていますが、たとえ大会が開催されなくても Laser の基本であるフリート活動で出来る事は沢山あります。それぞれのフリート、拠点で感染防止策をきちんと守り、今こそ Laser を満喫しましょう！！

Tokyo Bay フリート
都 茂樹

江の島／PSJ現状

5月17日 江の島ソフトオープンに向けて海外セイラーからのチャーターに対応していますが問い合わせ件数も少なく、その内容は「本当にできるの？」といったものが多く、こちらからの確実な返答も出来ずの状態でした。

ここにきて「World is One Enoshima Sailing Cup 2021」の大幅な延期というアナウンスがありました。<https://wcs-enoshima.jp/>

現在のところ大会の延期ということだけでハーバーオープン（5月17日）の延期という発表はありませんが、これも6月後半への延期の可能性が大です。

チャーターの問い合わせには早めに江の島に入りて大会に参加後、いったん国に帰り、改めて7月中旬のオリンピック会場オープンに向けて来日するというパターンが多く見られたのですが。。。大会が7月に延期となると、Sailing Cup直前に入ってきて本番終了まで日本に連続滞在のパターンが主になると思われます。

海外からの選手の入国がどうなるかの情報も全く見えない中、本当にSailing Cupを開催できるのか？非常に楽観的ですがスムーズにいった場合下記のような流れになると思われます。

6月末からオリンピック参加国チーム来日

7月初 「World is One Enoshima Sailing Cup 2021」
（開催出来るかどうかは微妙）

7月12日 迄練習可能

7月14日 オリンピック艇抽選 使用開始

PSJでは昨年江の島に99艇のオリンピック艇を準備してあったのですが、資金繰り及び雇止めを避けるために海外に超格安でまとめ販売てしまい、現在は毎週土曜日も工場稼働という現状です。オリンピック艇は会場におけるサポートも含め全て無償チャーターという小ビルダーにとって非常に厳しい条件の中でこの夏をいかに乗り切るかに頭を痛めています。

Team PSJ



レーザークリニック@高松

(3/13~14)



3/13(土)、3/14(日)にレーザークリニック in 高松ヨットハーバーが開催されました。

瀬戸内海の高松は風の無さそうなイメージでしたが、2日間共にハイクアウトコンディションに恵まれ、軽風～強風のバリエーションのある練習を行うことができました。また、2日目は流石高松！という潮流の速さ（1分間に40m!）で、他の海では経験することのできないコンディションを味わうことができました。

レーザーラジアルグループは初日は午前中は8~10ktほどの風の中でマークを使ったハンドリング練習を行い、午後はさらに吹き上がった15~18ktの中、グループを分けてスピード練習ののち、少し落ちた風の中でスタート/コース練習を行いました。高松フリートの皆様のサポートがあり、一時ハーバーバックする選手がいても、このコンディションが初めてだったという選手も含めて全員が強風コンディションを経験できたのは良かったことだと思います。

2日目は午前・午後を通してスタートとコース練習を行いました。風は初日よりも弱く、さらに前述した潮流で、マーク際で苦戦する選手が多くいました。風は1日を通して左へ振り、少し風速が上がりましたが、それに伴い徐々に正面から流れてくるようになる潮流に対して、どのように戦略を立ててコースを引くかがポイントになりました。

今回、急遽お声をかけていただき、現役ナショナルチームという立場でありながらもコーチとしてモーター艇に乗り、アドバイスをさせていただきました。レーザーのHow toや船の走らせ方の基本、レースに対する考え方など、いろいろなことをお話しさせていただきました。どれか一つでも選手の皆さんに響いて、これからのお達に向けたヒントになっていると嬉しいです。

選手の皆さん、高松フリートの皆様、ご両親の皆様、感染対策に配慮しながらクリニックを開催することができ、大変感謝しております。また、クリニックのコーチに抜擢してくださったレーザークラス協会強化委員会の佐々木委員長、高橋コーチ、大変お世話になりました。

（富部柚三子）





広島セーリングスクールの久保田悠木です。3月の13、14日に高松でレーザークリニックがありました。2日とも風に恵まれ、7~10m越えの風、高松のとても強い潮もあり、広島にはないコンディションで練習することができました。

4.7クラスは高橋さん、ラジアルクラスは現役選手の富部さんにコーチングしていただきました。海上でのアドバイスだけでなく陸に上がったあとのビデオを使った指導で自分より速い人がどのように乗っているのか、自分ができない、意識できていないところを分かりやすい角度で見ることができて、たくさんの課題を見つけることができました。

ホワイトボードを使って潮が強いときのコースどりや、実際にあった強い潮がレースにどのような影響を与えたのかなどの興味深い話を聞いていてとても面白いクリニックでした。高橋さん、富部さんありがとうございました。

そして初日の午後、出艇してすぐ沈をしてセールが裂けてしまい、予備もってきていなかったらどうしようと思っていると、高松の高校生のみなさんがセールを貸してくださいり、練習を続けることができました。本当にありがとうございました。

最後に、このように有意義なクリニックを開いていただいたB&G高松海洋クラブのみなさんありがとうございました。

(久保田悠木)



3月13日~14日に開催されたレーザークリニックに4.7クラスで参加しました。

まずは、去年から新型コロナウイルスの影響で多くの大会が中止になったり、思う様に練習ができなかったりした中、クリニックを開催して下さりありがとうございました。

今回のクリニックは高松では珍しく2日とも良い風に恵まれ、十分に海上練習を行なう事ができて、とても良い練習になりました。1日目はマークラウンディングを中心とした基本動作の練習と、ゲートスタートからの帆走練習を行いました。

マークラウンディングでは普段あまり気にしていなかったタックやジャイブの細かな体の動かし方を見直す事が出来ました。帆走練習ではハイクアウトの姿勢や、クローズのポートスピードや角度の確認、セールセッティングやトリムについて理解を深める事ができました。

2日目はコース練習が中心の練習でした。ショートコースでは、混戦の中で他艇に対する位置関係を考える良い練習が出来ました。スタート練習では予想以上の潮の速さで自分が思っているよりも低い位置でスタートを切ってしまい、こまめに潮を測る事が重要だと教えて頂きました。ミーティングでコースを考える時は潮の速さと自分のスピードを考えてコースを組み立てる事を教えて頂きました。今回のクリニックで学んだ事を生かして、スプリングレガッタで良い成績を残して4.7世界選手権出場を決められる様に頑張ります。

(谷凜太郎)



ARCHIVE 2020

2020 レーザーミッドウィンターレガッタ
(2/22~24 鹿児島県平川)
風に恵まれ最高のレースに？！



出艇前～桜島キレイです～



朝一の風はまだ軽風



良い風に恵まれました

冬に南国鹿児島で！というご要望にお応えして、鹿児島平川では初めてのミッドウィンター開催となりました。4.7クラス 16 艇、ラジアルクラス 48 艇、スタンダードクラス 14 艇の合計 78 艇が集まりました。大会の開催にあたっては、コロナウイルスに関連して、予防策の啓発や取り組みに協力して頂き、また楽しみの一つであったレセプションを中止する等、選手の皆さんにはご不便かけましたが、出来うる準備を行った上での大大会開催となりました。

レース初日の朝は、前線が通過するという予報でありましたが、思いの他通過が早く昼からのレースは順調に 6~9m/s の風で 3 レース消化。初日 2 レースと思っていた選手は、さぞ疲れたことでしょう。3 レース目は 10m を超える時もあったとか。陸にあがってからは、おもてなしのスープを飲みながら、シフトの大きかった海面のアタリ・ハズレや沈しただの、なんだの、あれこれ、会話が弾んでいた様子でした。

レース 2 日目は微風予報です、というブリーフィングでアナウンスを裏切り、海面に到着時にはフルハイクするコンディションになりました。平川の北風は陸風で波はありませんが、岸の影響を受けて強弱もあり良く振れます。シフトやブローのタイミングを上手く使えた選手が上位の印象でした。結局この日も風に恵まれ 3 レース。

最終日は、本当の微風予報となり、沖待機で頑張りましたが、ぽかぽか陽気となってしまい、タイムリミット。残念な最終日となりましたが、昨日までの 6 レースを見る限り、選手には満足頂けたのではないかと思います。



2020Laser All Japan Championships
(11/20~23 三重県津市)
鈴鹿おろしが吹いて来た～！！！



初日から期待通り吹いてます！



トップ3の爆走！

初めに、日本をはじめ世界に大きな影響を与えている新型コロナウイルスが猛威を振るい、大きな大会を開催することが難しい中、感染対策をしっかりと行った上で盛大に開催していただきましたこと、誠にありがとうございました。選手を代表して心より感謝申し上げます。

我々レーザーセーラーは2020年の大会参加を制限され非常に寂しい思いをしておりましたが、今大会に参加できたことで満足できたのではないかと思っております。

さて、今大会は三重県の津市で開催されました。津での全日本レーザーは私が15歳の時以来5年ぶりとなりました。2015年の全日本は初日二日目と風に恵まれず、最終日に10-15mの強風の中4レースを行い、ヘトヘトになってハーバーバックしたのを鮮明に覚えています。今回はさすがに3日間きちんとレースができるだろうと思っておりましたが、津の海は容赦なく両極端な風を私たちに与えてきました。そんな難しいコンディションの中、少しでもレースを選手達にしてあげようと素晴らしい運営を展開してくださったレース委員長をはじめ運営に携わってくださった方々には感謝でいっぱいです。

レースでは全4レース微風でも強風でも全ての場面において全集中の呼吸で臨むことができました。久しぶりの大きな大会への参加で、ヨットレースは面白いと改めて実感しました。

今大会は五輪代表であり津フリートメンバーである南里さんに勝つことを一つの目標として参加していました。最終日は苦手な強風の中で苦しい展開になると思っていましたが、足がちぎれるくらいハイクアウトをした甲斐もありなんとか勝つことができました。

長い期間の練習は相手がいなければ成り立ちません。そんな中、東京オリンピックに向けてセーリングパートナーとして私を選んでくださった南里さんには感謝しています。これからもオリンピック本番まで切磋琢磨しあい、お互いを高めあえるように精進して参りたいと思います。

来年の全日本レーザーは私が13年間セーリングを学んだ私のホームポートである山口県光市スポーツ交流村で行われます。光の海は不安定な風で有名で満足したレースが行えるか不安ではあります、皆さん是非光の海にお越しください。心よりお待ちしております。

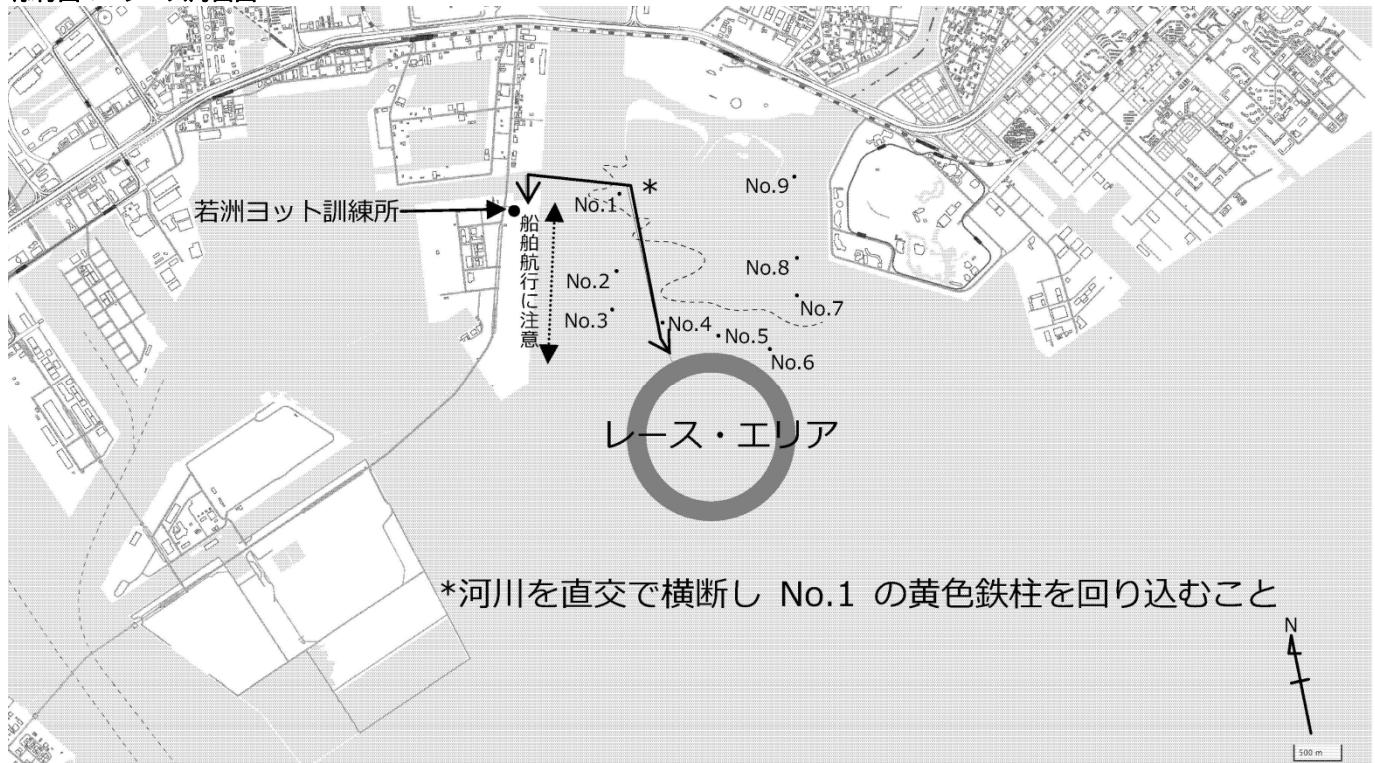


キマッタ！！ スーパーハイク＆レイルライド



ステンドグラスのレーザートロフィー

添付図1 レース海面図



その他の情報

1. 国体選考 本大会は東京都及び神奈川県の国体候補選手選考レースを兼ねる。詳細は各連盟HP参照のこと。
東京都ヨット連盟 <http://www.tsaf.com>
神奈川県セーリング連盟 <https://www.kanagawa-sailing.org/>

2. チャーター艇 8艇を準備
(ハル、スパー、フォイル、船台のみ)。
チャーター料 7000円
チャーター申し込みはメールにて必ずエントリー前に行い、参加料と一緒に振り込むこと。
申し込み先 ; manabu1@d2.dion.ne.jp 石原学
(艇番は12万台～15万台、配艇は当日抽選)

3. 舟の搬入及び駐車場について
搬入及び駐車はハーバー内の指定された場所を利用すること。
搬入手続きは大会本部にて各自で行うこと。
施設使用料 : レーザー 1艇 1,000円/日
* 18歳以下は 500円/日
: 支援艇 1艇 1,500円/日
駐車料 : 500円/日
(ゲート入口にて係員に支払うこと)
ゲートオープンは 7:30
(オープン待ちでゲート前の駐車は不可です。
時間調整してお越しください)
(*) ハーバー内は車中泊不可

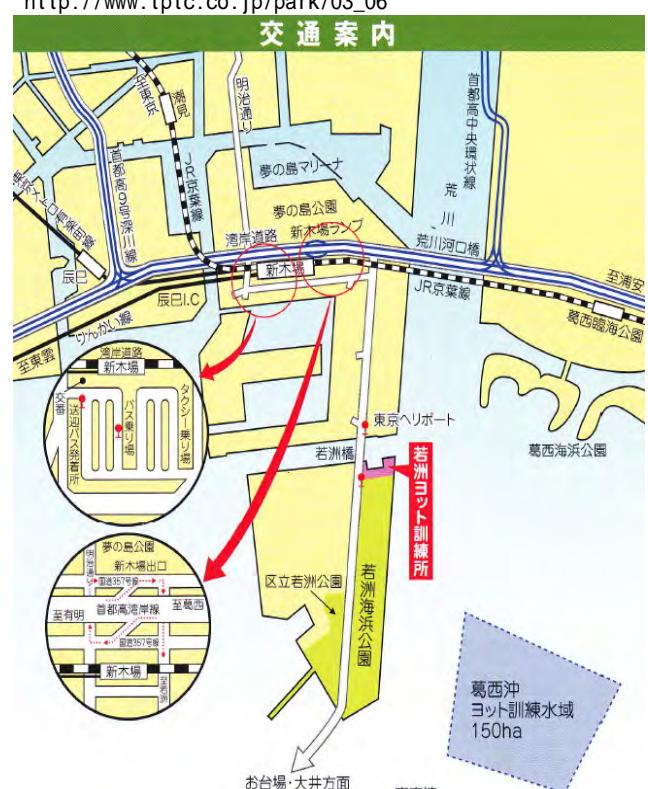
4. 事前練習について
若洲ヨット訓練場を利用しての事前練習には、
支援艇(救助艇)の帯同と出艇・帰着の申請
(ハーバー棟2階事務所)が必要です。
支援艇(救助艇)無しでの海上練習は**禁止**されていますのでご注意ください。

5. 宿泊

各自予約のこと。
東京海員会館 TEL 03-3531-2216
江東区若洲公園キャンプ場(要予約)
TEL 03-5569-6701

東京都立若洲ヨット訓練所

〒136-0083
東京都江東区若洲 3-1-1
TEL 03-5569-6703
http://www.tptc.co.jp/park/03_06



一年延期となってしまった東京オリンピックに向か、代表選手はこのコロナ禍も国内で練習を続けています。約一年ぶりとなる海外レース（ポルトガル）に参加すべく明日（4/9）より遠征となります。



FINISH LINE

Sponsors



2021年3月25日、「2020 東京オリンピック」の聖火リレーが福島県・ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジからスタートした。244号が発行される頃には、オリンピックの開会式まで100日を切った状況になっていると思われる。海外からの観客は、受け入れない状態でオリンピックは開催されることが決定されたが、国内では、新型コロナウイルス感染症の第4波が起らず、無事に開会式を迎えることができることを祈るばかりである。

思い起こせば1年前、日本でも第1回目の緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出は自粛を促され、3密を避ける行動が要請された。私もある期間、この要請を忠実に守り、運動不足、体力低下に陥ってしまった。

日本レーザークラス協会には、検討依頼はなかったが、オリンピックを主催する自治体の担当者から、2名以上で操船するクラスに対しては、競技中、クルーとスキッパーは、常に1.5mを超える距離を置いた状態で操船できるか否かの問い合わせがあったとか。アスリートから範を示せとの考えのようである。東京オリンピックのための特別ルールを採用し、違反すれば失格とすることのようであった。しかしながら、艇長5m前後のフネで、クルーとスキッパーが常に1.5mを超えて離れた状態で操船するには、クルーは、バウ付近のみで、スキッパーはスタン付近のみで操作が可能となるようにシーティングシステムを変更する必要があり、現実的に不可能であった。あるクラスに関しては、前述の担当者から、左右のフロートにクルーとスキッパーが必ず別れて乗ってはどうかとの意見もあったが、微風時以外はかえって危険であると回答したようである。真偽は不明のままである。

(ニュース委員長 重松貴)